1. 教育計画 基礎看護学

分野	専門分野 基礎看護学		科E	名	診療の補助技術Ⅰ		
单位•時間	1 単位・30 時間(授業 28 時間)		対象	学年	2年生		
方法	講義、演習		時其	月	前期		
	包帯法、苦痛の緩和・安楽確保の技術、呼吸・循環を整える技術、侵					侵襲的	
	処置の介助技術、治療・処置の介助技術						
		専任	教員	松井っ	きやか	(14時間)	)
講師名	感染防止の技術	法人	講師	根本了	文江	(4 時間)	
(担当授業時間数)	生体情報のモニタリング	法人	講師	千田	諒	(2時間)	
	生体機能管理技術	法人	講師	渡邉	貴子	(4時間)	
	X線撮影検査(画像の見方)	法人	講師	井戸沼	俊英	(2時間)	
	輸血管理	法人	講師	根本	莉菜	(2時間)	
講師の実務経験	看護師として星ヶ丘病院に9年、星総合病院に6年						
学習目標	診療に伴う基本的な知識と援助技術を学ぶ。						
成績評価方法	筆記試験 筆記試験 100 点(松井 さやか)						
	*授業での提出物・演習態度も評価に加味します。						
	医学書院 基礎看護学② 基礎看護技術 [						
使用テキスト	医学書院 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ						
使用ナイベト	メディックメディア 看護技術がみえる① 基礎看護技術						
	メディックメディア 看護技術がみえる② 臨床看護技術						
参考文献			,				
履修上の留意	*演習で実習室使用時は原則白衣着用となります						
講師からの	多職種の講師からの授業があります。また演習も多くありますので、看護						
メッセージ	職としての役割について考えていきましょう。						

## 2. 授業計画

	時間	主題	授業内容	形態	備考
1 2	2	2 包帯法 苦痛の緩	1. 包帯法、三角巾固定	講義	松井
		和・安楽確保の技術	2. 罨法	演習	化分子
2	2 2	呼吸・循環を整える	1. 酸素吸入療法	講義	松井
	技術	2. 吸入	演習	14271	
3 4	4	呼吸・循環を整える 技術	<ol> <li>排痰ケア・体位ドレナージ</li> <li>口腔、鼻腔内吸引</li> <li>持続的吸引(胸腔ドレナージ)</li> </ol>	講義演習	松井
5	2	侵襲的処置の介助 技術	<ol> <li>3. 中心静脈カテーテル挿入の介助</li> <li>4. 無菌操作</li> </ol>	講義演習	松井
6 7	4	治療・処置の介助技 術	1. 膀胱留置カテーテルの挿入・管理2. 一時的導尿	講義 演習	松井

	時間	主題	授業内容	形態	備考
8 9 4	感染防止の技術	<ol> <li>感染防止の基礎知識</li> <li>標準予防策</li> </ol>			
		3. 感染経路別予防策	講義	根本	
		4. 洗浄・消毒・滅菌	演習	(文)	
		5. 感染性廃棄物の取り扱い			
		6. 袖付きガウンテクニック			
10 2	生体情報のモニタ	1. 心電図	講義	千田	
	_	リング	2. 人工呼吸器	一件技	ΙШ
11 12 4	症状•生体機能管理 技術	1. 検体検査			
		2. 生体検査	講義	渡邉	
		超音波検査、心電図検査、肺機能検査	神我	<i>辰</i> 迢	
		3. 血糖測定			
13 2		症状•生体機能管理	1. 生体検査(画像の見方)		
	2		X 線撮影、CT、MRI	講義	井戸沼
	技術	2. 放射線暴露の防止			
14 2	輸血の管理技術	1. 血液細胞の役割			
		2. 血液細胞不足時の補助的療法	<b>=</b> ±±	根本	
		3. 輸血用血液製剤の種類と各製剤の使用	講義	(莉)	
		目的について			
15	2	評価	筆記試験		松井